



新型コロナウイルス感染症の流行を踏まえた
市民による救急蘇生法について（指針） R2.5.22

救命処置をしなくてはならない。
でも、感染リスクを減らすには、どうしたらいいの？



Q 反応を確認するとき、呼吸を観察するときには・・・

A 確認や観察するときは、傷病者の顔と救助者の顔が、あまり近づきすぎないように！



反応（意識）の確認



呼吸の確認

Q 胸骨圧迫するときは・・・

A 傷病者の呼気からの飛散を防ぐため、胸骨圧迫を始める前に、傷病者の鼻と口をハンカチやマスク等で覆いましょう。



胸骨圧迫

Q 胸骨圧迫と人工呼吸の組み合わせのときは・・・

A① 成人に対しては、人工呼吸は行わずに、胸骨圧迫法のみ実施しましょう。

A② 子どもに対しては、講習を受け人工呼吸の技術を身につけ、人工呼吸を行う意思がある場合のみ、胸骨圧迫と人工呼吸を組み合わせる。

※人工呼吸用の感染防護具があれば望ましい。



成人に対する人工呼吸



感染防護具



一方弁付き感染防止シート



一方弁付き人工呼吸用マスク

Q 心肺蘇生法等の後は・・・

A 救急隊へ傷病者を引き継いだ後は、速やかに石鹸と流水で手と顔を十分に洗う。
傷病者の鼻と口を覆ったハンカチ等は、直接触れずにビニール袋に入れ廃棄しましょう。

